

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：障害者支援課
担当名：施設支援担当
内線：3314 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
S66	グループホーム等事業助成費			一般会計	民生費	社会福祉費	障害者福祉費	生活ホーム事業助成費	
事業期間	昭和63年度～	根拠法令	障害者総合支援法87条、89条(任意)、94条1項(義務)埼玉県障害福祉施設等支援事業補助金交付要綱他			針路分野施策	07 誰もが活躍し共に生きる社会の実現 0703 障害者の自立・生活支援	SDGsゴール10 SDGsターゲット10-2	
1 事業概要 障害者のグループホーム等におけるサービス提供に係る費用を支出した市町村に対して、その費用の一部を負担する。また、グループホームの安心感を高め、入所施設等からグループホームへの地域移行を促進する。 ア グループホームサービス費負担金 206,877千円 エ 重度障害者グループホーム整備事業△16,000千円				5 事業説明 (1)事業内容 ア グループホームサービス費負担金 6,109,723千円→6,316,600千円 障害者のグループホーム利用に係る訓練等給付費等を支給した市町村に負担金を交付する。 エ 重度障害者グループホーム整備事業 重度障害者の地域における住まいの場の確保と社会問題化している空き家の有効活用という二つの課題を解決するため、空き家を重度障害者にも対応可能なグループホームへの改修に要する経費を補助する。 24,000千円→8,000千円 (2)事業計画 ア グループホーム等の見込量 ※平成30年度～令和 4年度は定員数 平成30年度4,758人分 令和元年度5,632人分 令和 2年度6,713人分 令和 3年度7,659人分 令和 4年度8,881人分 令和 5年度10,190人分(見込み) イ 重度障害者グループホームの整備 3箇所 (3)事業効果 グループホーム等の運営が維持されて地域での住まいの場が確保され、また、重度障害者対応グループホームが整備されるとともに登録したグループホームの周知により、入所施設だけでなくグループホームも在宅の重度障害者の住まいの場の選択肢の1つとなることで、在宅の重度障害者からの入居や、障害者施設からの退所や精神科病院からの退院が促進される。 (4)補正予算の概要 ア 執行見込み額を調査したところ、執行見込み額が当初予算を上回ったため差額分を増額補正するもの。 エ 整備件数が見込みを下回ったため減額補正するもの。					
2 事業主体及び負担区分 ア 国1/2(県1/4)市町村1/4 エ (県3/4)事業主体1/4									
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分)社会福祉費(細目)障害者自立支援費(細節)障害者自立支援費 社会福祉施設整備事業債 充当率80%、行政改革推進債									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.0人=28,500千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		県 債							
決定額	190,877	△16,000						206,877	6,365,350
現計額	6,174,473	24,000						6,150,473	

事業内訳書

事業名	グループホーム等事業助成費		
単位事業名	グループホームサービス費負担金	予算額	206,877千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	206,877	—	
合計	206,877	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	206,877	—	グループホーム費負担金 206,877千円
合計	206,877	—	

単位事業名	重度障害者グループホーム整備事業	予算額	△ 16,000千円
-------	------------------	-----	------------

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・民生債	△16,000	—	心身障害児（者）援護施設等整備事業債
合計	△16,000	—	

単位事業名	重度障害者グループホーム整備事業	予算額	△ 16,000千円
-------	------------------	-----	------------

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	△16,000	—	整備施設数が当初見込みを下回ったことによる減 △16,000千円
合計	△16,000	—	